

豊かな森林を活用した温室効果ガス削減に対する提案

先人の努力により築かれてきた我が国の森林は利用期を迎えつつあり、まさに今、この資源を活用して森林・林業の再生を図ることが、温室効果ガスの削減や低炭素社会を実現する鍵と言える。

このため、関西広域連合の各府県では、平成21年度に創設された基金事業である「森林整備加速化・林業再生事業」を活用して、温室効果ガスを吸収する間伐の推進や間伐材利用の取組を進めるとともに、東日本大震災の被災地復興に資する木材を供給する取組も進めているところである。

加えて、東京電力福島第一原子力発電所の事故を契機に、我が国のエネルギー政策の抜本的な転換が求められる中で、木質バイオマス資源をはじめとする再生可能なエネルギーの利用を促進していくことが求められており、このことは、国の復興会議でも提言されたところである。

よって、政府におかれては、温室効果ガスの削減や東日本大震災における被災地支援、再生可能なエネルギー利用に欠かせない森林・林業の再生を全国規模で進めることができるよう、次の事項について強く要請する。

記

1 森林・林業の再生について

- (1) 本格的な震災復興に向けた平成23年度補正予算の編成に当たって、基金事業である「森林整備加速化・林業再生事業」の拡充・延長
- (2) 森林・林業の再生に必要な安定的な財源の確保

関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂吉伸
委員	滋賀県知事	嘉田由紀子
委員	京都府知事	山田啓二
委員	大阪府知事	橋下徹
委員	鳥取県知事	平井伸治
委員	徳島県知事	飯泉嘉門